

市政記者各位

令和4年6月1日

福岡市博物館では、「福岡大空襲」の日にあわせ 企画展示「戦争とわたしたちの暮らし31」を開催します。

昭和20年（1945）6月19日、福岡は空襲により大きな被害を受けました。これにあわせ、企画展示「戦争とわたしたちの暮らし31」として、戦時期の福岡の暮らしに関する博物館資料の公開を行います。是非周知していただくとともに、取材いただきますようご案内いたします。

福岡大空襲とは？

昭和20年（1945）6月19日深夜から未明にかけて、アメリカ軍の長距離爆撃機 B-29 が福岡地方に飛来し、大量の焼夷弾を投下しました。福岡市の中心部は焼け野原となり、特に博多部は甚大な被害を受けました。

博物館では平成3年からこれまで、この6月19日を含む日程で、毎回テーマを変えて企画展示「戦争とわたしたちの暮らし」を開催しています。

企画展示「戦争とわたしたちの暮らし31」

企画展示「戦争とわたしたちの暮らし31」では、前線と銃後をつなぐ郵便物である**軍事郵便**を中心に紹介します。**日中戦争・太平洋戦争期の手紙や慰問袋、戦後のソ連俘虜用郵便はがき**など約**70点**の館蔵資料を展示します。近年収集した資料として、**太平洋戦争末期に家族に送られた手紙や、徴兵された学生（学徒出陣）が書き残した書画**などを初公開します。

会 期：令和4年6月14日（火）～8月21日（日）

(1) 場 所：福岡市博物館 2階 企画展示室 1

(2) 料 金：一般 200 円、高大生 150 円、中学生以下無料

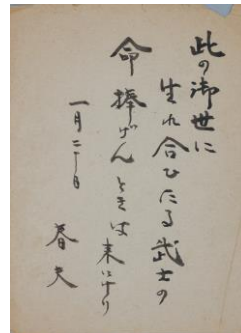
※常設展示室・企画展示室共通



雑誌表紙（慰問袋を作る女性）



戦地から兵士が妻に送った軍事郵便



学徒出陣に先だつて学生が残した詩

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課 松村
電話 092-845-5011 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1